



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



8月3日、イベント・レシカ第3回でJAの職場体験を実施！農産物直売所「eciR」ではレジ打ちや接客も行い、子どもたちは緊張しながらも楽しんでいました♪

→記事の詳細は8ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA_KITASORACHI

目次

- 2023うりゅう特産品フェア開催…………… 2
- スローフードフェスタinふかがわ…………… 3
- 青年部が米販促…………… 7
- 地域農業応援団第2回を開催…………… 9

2023 うりゅう特産品フェア 開催

7月29日、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」に隣接する、当JA雨竜野菜集出荷施設・雨竜町ライスコンビナートで「うりゅう特産品フェア」が開催された。

同フェアは毎年この時期に開催され、雨竜町の特産品（暑寒メロン、マダーボールスイカ、スイートコーン、花き）を出荷最盛期に提供し、地域を盛り上げることを目的としている。

当日は特価で購入することができるということもあり、贈答用にまとめ買いする姿も多くみられ、用意していたマダーボールスイカ60箱と暑寒メロン500箱・スイートコーン・花きが、開始1時間ほどでほぼ売り切れるほど大盛況となった。



北竜町 メロン・すいか祭り 開催

毎年8月に、北竜野菜集出荷施設前で開催される「北竜町メロン・すいか祭り」が今年も開催された。メロンは8月5日、すいかは8月14日と2回に分けて販売された。

町特産の「北竜ひまわりメロン」や「ひまわりすいか」が特価で販売されるため、両日ともに多くの買い物客が訪れた。

買い物客は規格ごとに分けられた販売ブースに並び、甘さや食べごろなどを聞きながら好みのものを、お中元、お土産用などにたくさん買い求められた。

5日はメロン750ケース、14日はすいか450ケースを準備し、どちらも好調な売れ行きで、開場から15分ほどで完売する規格もあった。



スローフードフェスタ inふかがわ



7月29日、30日、2023ふかがわ夏まつりが深川市内の特設会場で開催され、29日は市内農業関係団体で構成する深川市農業対策協議会主催の「スローフードフェスタinふかがわ」が行われた。

毎年ふかがわ夏まつりと同時開催されていたこのイベントは新鮮で安全な農畜産物を地元を提供し、消費者との交流で絆を深め地産地消を進めることを目的に行っており今年は4年ぶりの開催となった。

当日は気温が高い中、大勢の来場客で賑わい、メインステージでの「餅まき」や「こめっちじゃんけん大会」、さらに各出展ブースではふかがわまい生産組合による「米すくい取り」や市内JA女性部による「キャラクター巻きずし体験」、JA青果部による「青果物即売会」などで大盛況だった。

また深川市農民協議会によるスローフード大抽選会や同市役所によるO×クイズ、農業委員会によるこめっちジャンケンなどの催しも多数企画され、多くの来場者が参加した。



餅まきの様子



すいかやメロンも販売♪

深川観光大使に就任されたNORDの島太星さん（深川市出身）とふかがわまいを持ってパシャリ



大勢の来場客で賑わいました

子どもたちがキャラクター巻きずしに挑戦



大好評のお米すくい



「生花リレー」で癒しを届ける

7月10日、北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長・妹背牛町）は、毎年恒例となっている「生花リレー」を行った。

この生花リレーは新型コロナウイルスが流行し、行動制限等で元気を無くした市民・町民の方々の癒しになればという思いから令和2年よりスタートし、今年で4回目となる。

北空知管内で栽培された花を用いて、花き農家で前職が花屋でもある生産者2名が、フラワーアレンジメントを作成し各市町村役場等計8カ所へ寄贈した。

また同日、当JAに対しても寄贈を行い受け取った岩田清正組合長は「今年も素晴らしいフラワーアレンジメントをありがとうございます」と感謝を述べた。

来年以降もフラワーアレンジメントの寄贈は行われる予定となっている。



次世代を担う生徒へ農業を 幌加内高校で出前授業

7月19日、(株)日本農業新聞と当JAが、北海道幌加内高等学校の生徒約40名に向けた出前授業を実施した。

この取り組みは、次世代を担う管内の農業高校の生徒に、近年課題となっている農家の高齢化や後継者不足等について、また地元JA、地域農業への関心を高めて欲しいという思いからJA農業振興部が企画した。

はじめに、同校の卒業生である松本定幸営農企画課長が講師を務め、「共に育む未来の農業」と題し、JA管内における農業の現状や、JAが実践している新規就農の取り組み、また農業高校での学びと将来の就農への準備などについて講義を行った。同職員は、「農業の担い手が増えることで農業が発展し、地域社会の発展につながる」、「農業のコツとして、技術力も大切だが、コミュニケーションを取ることが一番大切。生産者同士、生産者と実需、生産者と消費者、どの関係においてもコミュニケーションで信頼関係を築き、深めることができる」などと説明した。

続いて、(株)日本農業新聞社北海道支社の福原亮佑氏が講師を務め、「新聞の読み方、活かし方」と題し、実際に生徒に農業新聞を配布して、新聞の読み方や見出しの付け方、レポートを書く際のポイントなどについて講義を行った。

福原氏は新聞を読むポイントとして、「新聞はインターネットニュースと違い、興味がない内容でも自然と目に入り、いろいろな知識を広く知ることができる」「見出しには記事の結論が書いてあるため、短時間で新聞記事の要点を把握することができる」などと説明した。

この日参加した生徒は、「就農しようか迷っていたが、本校OBでもあるJAの方からお話を聞けて、今後の進路を考えるきっかけとなった」「新聞は難しいイメージで苦手だったけど、見出しだけでも読む癖をつけて、少しでも農業界について知ることが大事だと思った」などと感想を話す。





「深川一已バトルス」全国大会出場を祝して 「ふっくりんこ」を贈呈！

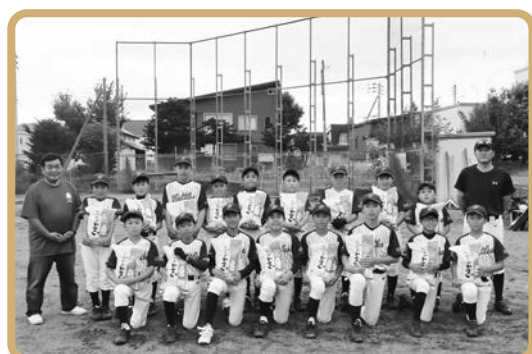


7月22日から徳島県で開催される「第11回野球のまち阿南少年野球全国大会」と、8月5日から東京都で開催される「第43回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」への出場を祝して7月18日ふかがわまい生産組合（伊藤裕美組合長）が深川一已バトルスの選手へふっくりんこ5kgを17袋贈呈した。

伊藤組合長は「昨年も優勝を祝してお米を贈呈させていただいた。今年もまた全国大会へ出場するという事でふっくりんこを贈呈させていただく。野球というのはチームプレー、体に気を付けながら自分の力とみんなを信じて精一杯戦ってきてください」と激励の言葉を送りふっくりんこを手渡した。



販売部



「深川JB（ジュニアボーイズ）」全国大会出場を祝して 「ふっくりんこ」を贈呈！



8月7日から東京都で開催される「全日本バレーボール小学生全国大会」への出場を祝して7月31日、ふかがわまい生産組合（伊藤裕美組合長）が深川JB（ジュニアボーイズ）の選手へふっくりんこ5kgを13袋贈呈した。

伊藤組合長は「全国大会出場おめでとうございます。全国大会に出場するという経験はなかなかできるものではないと思います。今回贈呈させていただいたふかがわ米を食べて元気いっぱいチーム一丸となって頑張ってください」と激励の言葉を送りふっくりんこを手渡した。

受け取った選手は「ふかがわ米を食べて全国大会で1回でも多く勝ってきます。応援よろしくお願いします」と意気込みを語った。



北大生フレッシュマンセミナーを開催

8月9日、北海道大学学生30名が講座の一環として、北海道の農山漁村・地域における社会経済的課題について協同組合がその解決にどのような役割を果たしているのかを学ぶ為に、JAきたそらちで研修を行った。

始めに、後藤農業振興部長より「JAきたそらち事業概要について」講義を行った。

参加した学生は、水稻を主体とした多種多様な農畜産物の生産、スマート農業導入の話など学生達は興味深く聞き、「現在、スマート農業は素人でも出来るくらいまで進んでいるのか?」「国内のお米の需要減少に伴い、今後の販売はどの様に考えているのか?」など様々な質問が寄せられた。



続いて深川マイナリーではお米の集荷から貯蔵・粳摺りについて、また精米施設では無洗米の行程や精米について学んだ。大きな施設が沢山あり規模感に驚いた学生からは、「摺った後の粳殻はどの様に使われるのか?」「1等米と2等米の違いは?」「無洗米のキャッサバはどれくらいの量を使うのか?」など様々な質問が出ていた。

その後、きたのむらさきを使用した黒米カレーを食べた生徒は「初めて黒米を食べたけど、とっても美味しい」「普段も五穀米など食べているから嬉しい」など笑顔でカレーを堪能していた。

JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ3期生 JAきたそらちツアーを開催!

農業
振興部

8月18日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」3期生の第8講が開催され、受講生6名が参加した。第8講は、「日帰り研修～JAきたそらちツアー」と題し、深川・雨竜・北竜・幌加内の施設や北空知圏学校給食センターを視察し「食と地域と農業の繋がり」について学んだ。

給食センターでは午前中に給食調理、午後には給食の食べ残し処理を見学し、動画視聴もしながら地場産のものをを使った給食メニューの工夫や、食べ残し処理から食品ロスを考える重要性を学ぶことができた。

続いて幌加内町ではそば工場を視察した。まずは「そば日本一の牙城」を見学し、収穫したそばの品質を保つための乾燥施設について説明を頂いた。また低温貯蔵施設「雪乃御殿」では雪を利用した寒冷地ならではの貯蔵方法を学んだ。当日は気温が30度まで上がり蒸し暑い中での視察であったが、雪乃御殿の扉が開くと受講生は「すごく寒い!」「自然を活用していることがとても良い」と8月中旬でも貯蔵庫内にある残雪に驚いていた。

雨竜町の視察では「コンサドーレ札幌のドーレ君」がデザインの田んぼアートの写真を撮影したり、道の駅の「うりゅう米UFOキャッチャー」の体験をし、見事獲得した景品を手に受講生たちはとても盛り上がっていた。

最後に当JAのマイナリーと精米施設を見学し、自分たちが普段口にしてのお米の精米工程や貯蔵の仕組みについて学んだ。施設の機械について説明を受け受講生は、「地元でも普段見ることの出来ない施設を見学できてとても有意義。どの施設も説明が分かりやすく勉強になった」と話す。



青年部が音更町で米を販売!

JA YOUTH 青年部
だより

8月20日、音更町のスーパー「ハピオ木野」で、JAきたそらち青年部が白米販売促進事業を行った。

この活動は毎年行っており、ハピオ木野での販売は初開催。この日はきたそらち産の白米「ふっくりんこ」「ななつぼし」「きたくりん」「おぼろづき」を店頭販売し、来店客に呼びかけを行った。

試食コーナーを設けて実際に食べていただき、品種ごとに異なる食味や食感を説明してお客様のニーズに合った白米の提供を行い、さらに購入して頂いた方に幌加内町のそばをプレゼントするなど、様々な方法できたそらちの魅力を発信した。

また、深川市のマスコットキャラクター「まいまい」もPR活動に参加し、来店した家族連れの子供たちと楽しく触れ合うなど、幅広い年齢にきたそらちをアピールすることができ、その日の販売数は189袋で約1トン規模の売上となった。

JAきたそらち青年部部長の駒村氏は「沢山のお客様に買って頂けたことが、今後の農作業の励みになる」と述べた。



北竜支所

北竜メロン生産組合

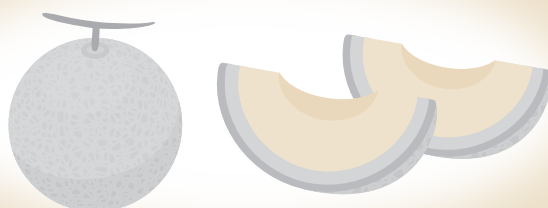
小学校などに「北竜ひまわりメロン」贈呈

7月21日、北竜メロン生産組合（石井隆組合長）が北竜町立真竜小学校へ『北竜ひまわりメロン』5玉入り3箱を贈呈した。この贈呈は地元の特産品を子どもたちに味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は石井組合長が小学校を訪れ、「美味しく出来上がっています。メロンを食べて勉強・遊びに励んでください」と同小学校の児童4名に手渡した。

受け取った児童は「たくさんのメロンをありがとうございます。みんなで美味しく食べます」と感謝の言葉を述べた。

また同日に、同町立北竜中学校にも贈呈を行った。



JAきたそらち子ども向け食農教育事業 イペ・トイ・レシカ

総務部

～（株）キョクイチ見学編～

～JA職場体験&施設見学編～

7月22日、今年度2回目となる当JAの食農教育事業イペ・トイ・レシカが行われ、塾生10名、子ども6名が参加した。

今回は、旭川市にある（株）キョクイチで市場見学を行った。同市場では競り落とされた魚介類や青果物が所狭しと並んでおり、当JAの青果物も見ることができた。子どもたちは、同市場の担当職員に市場内を案内頂き、流通について学んだ。商品を冷凍保存する施設「アイスセンター」では、マイナス50度の世界を体験し、あまりの寒さから子どもたちからは驚喜の声が上がった。

最後に同市場の前田直輝課長をはじめとした職員5名と懇談の場が設けられ、「フォークリフトは何台あるの?」「仕分けをしてダメになった果物はどうなるの?」など子どもたちからの積極的な質問に答えて頂いた。また、競りのデモンストレーションを行って頂き、その迫力に子どもたちは圧倒された。

今回参加した子どもたちは、「マイナス50度の冷凍庫に入る経験はなかなかできない。友達に自慢する」「沢山の野菜やお魚が並んでいてすごかった、マグロがおいしそうだった」と笑顔で感想を話す。



8月3日、3回目のイペ・トイ・レシカが行われ、自分塾生8名、子ども8名が参加した。今回は、女性活躍推進塾として組合員や地域に貢献する人財を育て確保することを目的として設立されたなでしこ塾の塾生6名も参加し、子どもたちの職場体験や施設見学、さらに第1回で子どもたちが定植した野菜を使ったハンバーガーづくりが行われた。

始めに延期となっていた開校式が行われ自分塾の松田直人塾長（当JA専務）が「今回JAの仕事に挑戦して頂き、将来皆さんに当JAで働きたいと思ってもらえたら嬉しい。夏休みの良い思い出となってもらえたら」と挨拶。その後精米施設に移動し米の集荷から調製・出荷までの流れを学び、最新鋭の設備に子どもたちは興味を示していた。

その後グループに分かれて、農産物直売所「eciR」・金融共済部多度志支所・多度志給油所・納内給油所で職場体験を実施。レジ打ちや接客、商品の包装や給油作業、パソコンへのデータ入力など様々なJAの職業を体験した。特に接客の業務では緊張で顔がこわばる様子も見られたが買い物客からの励ましの言葉や普段現場で働く職員からの言葉を受け、徐々に笑顔が見られ楽しく真剣に職業体験に取り組んでいた。

昼食にはハンバーガー作りが行われ、子どもたちはそれぞれ好きな野菜等の食材をはさみ、口いっぱい頬張っている姿が見られた。

今回参加した子どもたちは、「レジとか最初は絶対無理だと思ったけどみんなでやれば意外とできた」「ハンバーガーが美味しかった。トマトが苦手だったけれど食べられた」と笑顔で感想を話す。



第2回「JAきたそらち地域農業応援団」



(©よい食P)

JAの准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第2回が、8月7日に深川市内で開催され、団員16名が参加した。今回はJA施設の見学や花き収穫体験、JA農産物直売所での買い物などを行った。

JA施設見学では、「青果部野菜集出荷施設」にて胡瓜の共選作業を見学し、選果の基準や農福連携の取り組み等について学び、また隣接する「北育ち元気村花き集出荷施設」においては、北空知の花きの流通や種類について学び、実際に出荷前の花きを鑑賞した。続いて見学した「広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設」では、小麦や大豆の荷受けから出荷までの工程について説明を受け、「深川マイナリー」では、「ふかがわ米」が製品になるまでの工程を学んだ。

午後からは、深川支所音江地区渡邊滋典氏の圃場で、花き収穫体験が行われた。渡邊氏よりスターチスの収穫方法や栽培方法、花の保存方法や人気色などを説明頂きスターチスの魅力について学んだ。また実際にハウスに入りそれぞれ好きな色のスターチスを収穫した。

その後、道の駅ライスランドふかがわ内の「JA農産物直売所eciR」に移動し、直売所利用客アンケートに回答しながら見学と買い物をを行った。アンケートへの協力のお礼として配布された商品券を使って、袋いっぱい地元産の農産物を購入している団員の姿も見られた。



参加した団員は、「地元の野菜や大豆、お花などがお店や各家庭の食卓に並ぶまでの工程を学ぶことができた」「こんなにスターチスに色の種類があるとは思わなかった。今度見かけたらぜひ購入したい」などと感想を述べた。

読者の感想

7月号に寄せられたコメントを紹介!

当広報誌のクロスワードクイズへご応募頂いた、読者の皆様の「身近な出来事」「広報誌への感想」をご紹介します。ご応募ありがとうございました!

娘がプールを習い始めました。25m全然泳げなかったのがすぐに泳げるようになり、子どもの適応力と可能性を実感しました!!

いつも思うのですが、表紙が素晴らしいと思います。
(御田植祭の早乙女さん)

おたまじゃくしをカエルになるまで育てました♪成長の過程を見て感動しました!最後はハウスに放しましたが同じところにカエルが住み着いて今もナスときゅうりのところにいてかわいいです。

P20の金融共済部のお知らせを見ました。保険も変わってきましたね…。

運動中、熱中症にかかりそうになりとても恐ろしかった。暑さ対策が肝要だと再認識しました。



令和5年度

JAきたそらち 部署紹介

No.5

経済部



後列左から▶中村哲也主査、小野寺萌香、藤井壽太郎、竹村汐海、白川敬哲、谷口満
前列左から▶土永美幸主査、高橋直行課長、篠永雄一郎長、山崎江利子主査、武田恵理主査

経済部 資材課

高橋直行 課長からのコメント



予約購買を基本とし、そのメリットを生産資材の安定確保や価格の低減に最大限生かせるよう努め、生産者ニーズに合った奨励策の継続的検討や生産コスト低減につながる資材の情報提供に取り組んでまいります。

また、本所機能の強化による事業効率向上と組合員対応を強化する体制づくりに努めます。



後列左から▶長内大貴、畠山倫太郎、小田嶋祐汰、
前列左から▶越智順哉課長、田中嘉浩主査

経済部 資材推進課

越智順哉 課長からのコメント



肥料、農薬、その他資材全般の推進業務が中心の課です。

資材価格高騰が続いておりますが、予約購買により資材の安定供給、価格の低減に努めて参ります。

また、専門的な知識の向上に努め、技術指導や提案ができる職員を目指し、努力して参りますので宜しくお願い致します！



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年7月実績

○累計 (R4.12~R5.7)

発電電力 **54,035kWh**

発電電力 **335,502kWh**

計画対比 +6,696kWh

計画対比 +54,203kWh

前年対比 △7,621kWh

前年対比 △39,418kWh

売電金額 2,161,400円 (40円/kWh)

キーワードは 何としても生き残る！

～命の危機・経営の危機に直面したとき～



事故の内容	ロールベアラーに腕を巻き込まれる
事故の原因	牧草畑でトワインが巻きつけ中に切れたため、左のトワインに注意していたところ右腕がロールに巻き込まれる
けがの状況	右腕(上腕部中位)切断

酪農経営者を襲った機械のはさまれ事故
乳牛三〇〇頭、飼料畑二〇ヘクタールを経営する男性(70代)が、牧草畑でロールベアラー(刈り取った干し草や稲わらなどを圧縮・梱包する機械)を操作していたところ、トワイン(草やわらなどを結束するヒモ)が切れ、右腕がロールに巻き込まれました。男性は即座に残った作業着の腕部分で止血し、妻に電話で救急車を要請。右腕は失ったものの一命を取りとめました。「危機に直面したとき、『何としても生き残る!』という意識をもてるかどうかで明暗を分ける」と話しています。

農機に巻き込まれ 右腕切断の大けが



生命の危機＝経営の危機 厳しい状況を生き残る信念
男性は切断された腕の再接着を早々に断念し、全治一か月での現場復帰を選択。後遺症は多少あるものの、「けがによって一旦立ち止まり考える時間を得た。飼料高騰など酪農家にとって厳しい経営環境だが、何としても生き残るという信念が芽生えた」と語ります。
と同時に「安全を重視した作業環境の整備が必要である」とを痛感したという男性は、けがをきっかけに経営デザインを再検討。牧場内を総点検し、ハンディキャップがあっても作業できる環境づくりに取り組みました。専門家は「機械の修理点検はもちろんのこと、日頃から作業場の整理整頓を徹底することが事故率の低下に直結する」と話します。

巻き込まれ事故が多発しています

じゃがいも収穫中 つまづいた拍子に…

ジャガイモ農家の男性(60代)が、トラクターけん引式のジャガイモ掘り取り機を走らせながら歩いて操作中、つまづいた際に右手をロール部分に巻き込まれました。両手と顔に裂傷を負い、二か月の入院とリハビリを余儀なくされています。

コンバインの手こぎ中 手袋が巻き込まれ…

コンバインの脱穀部に稲わらを投入していた農家女性(60代)の右手袋がフィードチェーンに巻き込まれ、中指と薬指を複雑骨折する事故がありました。

バキュームカーの接合部に 防寒着のすそが…

畜産農家の男性(30代)が家畜ふん尿用バキュームカーの吸排切替レバーを操作中、防寒着のすそが機体と動力を接合する部分に巻き込まれ、全身を地面に叩きつけられました。左肋骨・左肩甲骨骨折、左上腕複雑骨折、頸椎一部欠損、左上腕剥皮創の重傷を負い、現場への復帰までに一年以上を要したとのことです。

巻き込まれ事故の予防と対策

- ・巻き込まれやすい服装は危険!
- ・とくに手袋は要注意!
- ・点検・整備・清掃時はエンジン停止!
- ・機械の操作は適切な距離と位置で!



イラスト/大山きいろ ©kosepro

回転ベルトのゴミを取り除こうとして…

稲作農家の男性(60代)がコンバインの暖気運転・注油・清掃作業中、回転ベルト付近のゴミを取り除こうとして作業手袋のまま右手を伸ばしたところベルトとブリー(動力伝達部分)の間に巻き込まれました。右手小指骨折と爪欠損で完治まで一か月半を要しています。

安全第一



ポイントは
そして
20分おきの
休憩&水分補給

高温時の作業を避ける！ 1人での作業を避ける！

毎年約三〇人が 農作業中の 熱中症で死亡

安全第一



イラスト/大山きいろ ©kosepro

農作業死亡事故の
約一割は熱中症！

近年の猛暑で熱中症事故が多発しています。農作業中では毎年三〇人前後が亡くなっており、農作業による死亡事故全体の約一割を占めています。

①高温時の作業は避ける

農作業は気温が高い日中の時間帯を避けて行いましょう。

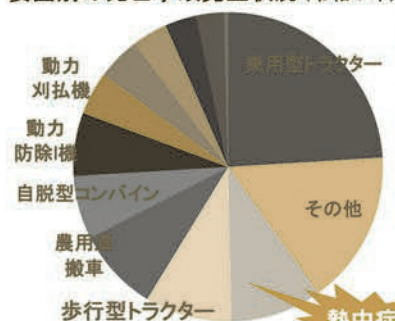
②単独作業は避ける

二人以上で作業し、時間を決めて声をかけたり確認し合ったりしましょう。

③二〇分おきに休憩&水分補給をとる

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、毎回コップ一〜二杯以上の水分補給をしましょう。

要因別の死亡事故発生状況(令和3年)



熱中症

乗用型トラクター	58人
その他	39人
熱中症	23人
歩行型トラクター	22人
農用運搬車	21人
自脱型コンバイン	16人
動力防除機	16人
動力刈払機	11人
圃場・道路からの転落	11人
稲わら焼却中などの火傷	9人
木など高所からの転落	8人
農用施設作業事故	7人
農用高所作業機	1人
合計	242人

七〇代以上が約九割！

農作業中の熱中症による死者数は七〇代以上が大半。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下するとされているので、とくに注意が必要です。

お住まいの地域の熱中症警戒アラートの発出状況などをチェックして、危険度が高い場合は、予定している作業を軽いものに変更するなどしてください。変更がむずかしい場合は、作業時間を朝夕の時間帯にずらしたり、休憩や給水の回数を増やすなどしましょう。

応急処置

- ・涼しい環境へ避難
- ・服をゆるめて風通しをよく
- ・水をかけたり扇いだりして体を冷やす(わきの下、首筋の両側、足の付け根などを冷やすと効果的)
- ・水分、塩分を補給

手足がしびれる、冷たい

めまい、吐き気がする

ズキンズキンという頭痛がある

汗をかかない、体が熱い

意識の障害がある

体がだるい

まっすぐ歩けない

熱中症の症状と
応急処置

意識がない、自力で水が飲めない、応急処置を施しても症状が改善しない場合はすぐに病院へ！

作業環境の改善
作業場を涼しくしたり
休憩の質を高めるために



ミストファン、ミスト発生器、
ミスト機能付きボトルなど

1人作業の備え
やむを得ず1人作業を
する際のリスク回避に



スマートウォッチ、応急セット、
冷感タオル、帽子など

身体を冷やす
暑い時間帯の作業が避
けられないときに



ファン付きウェア、ネック
クーラー、冷却ベストなど

熱中症対策
アイテム

キーワードは もしもあれがなかったら…

～家族の理解と代替がなかったら～



事故の内容	サイレージ取り出し中、地下式サイロに転落
事故の原因	サイロ周囲が霜で滑りやすく、長靴の底にも付着。チェーン巻き上げ機がサイロ上部に移動。
けがの状況	腰骨・左大腿骨の複雑骨折

高所から転落 両足骨折の重傷



牧草飼料の取り出し中
三メートル下に転落

家族労働で乳牛七〇頭、飼料畑七ヘクタールを経営する男性（40代）がサイレージを取り出す作業中、地下式サイロに落下して腰骨（腸骨）と左大腿骨を複雑骨折する重傷を負いました。事故当時、現場周囲は霜が降りて長靴の底にも付着し滑りやすくなっていたことに加え、いつもはサイロ横に設置してあるホイスト（チェーン巻き上げスイッチ）がサイロ上部に移動するなどしていました。男性は入院とリハビリで通常の生活に戻るまで四か月を要したとのこと。

事故の教訓と改善策

- ① 作業内容のリスト化やタイムテーブルの共有など、日ごろから家族が作業代替しやすい環境を整備しておく
- ② 作業場の滑り止めや柵の設置、道具類の整理整頓を徹底する

毎日の作業が必須の畜産業
代替要員の確保待たなし

搾乳や給餌など、酪農は毎日の作業が必ず発生します。男性はけがで作業できなくなり、一通り理解しており、農業大の作業員になってくれたおかげで円滑に引き継げた」と言います。また、「前年にフリーストール牛舎とミルキングパーラーを整備していたことが不幸中の幸い」とした上で、「もしも息子による代替がなかったら、ヘルパー雇用の必要から四百四十万円の出費につながり廃業していた可能性もあった」と振り返ります。

落下事故の予防と対策

危険を伴う高所作業時はヘルメットを着用し、2人以上で行う

負傷時は安易に自己判断せず医療機関を受診

トラックの荷台などに上る際は滑りにくい靴やヘルメットを着用

雨や油で一時的に濡れた箇所はウエス（布切れ）等でふき取る

はしごは床の設置部分、壁の立てかけ部分などがすべらないよう固定

脚立使用時の注意点

開き止め金具や開脚防止チェーンを掛ける
作業時は手と膝で体を支え、天板とその下段の踏さんには足をかけない
降りるときは両手で体を支え、体重は残したほうの足にかける



落下事故が多発しています

フォークリフトで育苗箱を二階に収納しようとして…

稲作農家の男性（60代）が一人でフォークリフトを使い、育苗箱を作業場の吹き抜け二階部分まで荷を持ち上げました。その後、二階に移動して育苗箱を引き上げようとしたところ、リフトで持ち上げた高さが足りず、しゃがみ込んで取ろうとしてバランスを崩し一階に転落しました。数分後に事業主が現場を訪れると、本人はフォークリフトの後ろに寄りかかり「立ち眩みがしただけで大丈夫」と言うものの、様子がおかしかったためすぐに救急車を手配。その間に男性は意識を失い、搬送中に嘔吐、脳挫傷、脳出血により意識不明の重体となりました。

雨で濡れたトラックの荷台から…

てん菜の苗ポットが入ったコンテナをダンプロトラックの荷台に積み込んでいた男性（70代）が雨で濡れた荷台で足を滑らせ、砂利を敷いた地面に転落。その日は痛みを我慢したもの、翌日病院で診察を受けたところ、肋骨を三本骨折、肺にも穴が空いていたため肺気胸の手術を受けました。

脚立の天板でバランスが…

果樹農家の男性（40代）がブルーンの収穫中、脚立の天板に右足を乗せて前かがみになった際、バランスを崩して滑るように落下。脚立に足を強く打ちつけ右アキレス腱を断裂しました。

はしごで降りようとして…

畜産農家の女性（70代）が牛舎の二階からはしごを使って降りようとした際、はしごの床の接地面が滑り、臀部と左足を強打して打撲傷を負いました。

備えていますか？

台風や自然災害に

台風11号

台風7号

台風9号

台風6号

台風10号

平成28年度に北海道へ
被害をもたらした主な台風

建物更生共済



JAの建物更生共済「むてきプラス」

火災・自然災害や地震からお守りします。

金融共済部からのお知らせ

JA共済

建物更生共済

いえの保障

むてきプラス

地震、火災、台風まで。家の安心を、これひとつで。

火災はもちろん、
台風や地震などの
自然災害もしっかり保障します！

満期のときには、
満期共済金が
受け取れます！

自然災害にも確かな保障

建物更生共済は、大規模自然災害においても
確かな保障をお届けしています。

最近の主な
お支払い例

平成30年 胆振東部地震
5,207件／
85億1,228万円

主な被災地区：石狩、後志、胆振、日高、空知
※JA共済北海道調べ(令和5年3月10日現在)

平成30年 台風21号
3,000件／
26億7,149万円

※JA共済北海道調べ(令和5年2月28日現在)

令和3年度 雪害
4,357件／
61億3,799万円

※JA共済北海道調べ(令和5年2月28日現在)

ご契約例

○共済の対象:建物(協定共済価額1,500万円) ○保障期間(共済期間10年:継続回数2回)…30年
○臨時費用共済金の支払割合10% ○実損てん補特約付 ○火災共済金額…1,500万円 ○満期共済金額…50万円

火災・台風のとき	損害の額 + 臨時費用共済金 特別費用共済金 残存物 とりかたづけ 費用共済金
地震のとき	750万円 × 損害割合 ※支払われる共済金は、損害の額の50%が限度です。
ケガ・死亡されたとき	傷害共済金
満期のとき	50万円 + 割りもどし金

●満期共済金は継続回数継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。
●共済期間は5年と10年が選べ、継続特約の付加により最長30年間の保障が可能です。
●割りもどし金は、ご契約後7年目から5年ごとおよび満期時に受け取れますが、その都度変動し、経済情勢などによっては0となる場合もあります。
※各種共済金のお支払いについては所定の条件があります。

このご契約例の共済掛金

住宅物件・口産据替扱い 単位:円(令和5年4月1日現在)

本連・防火連	年払い	月払い
当初10年間	78,425	6,710
1回継続後	72,597	6,213
2回継続後	71,698	6,136
耐火連B+C	年払い	月払い
当初10年間	51,853	4,431
1回継続後	47,394	4,056
2回継続後	46,514	3,980
耐火連A	年払い	月払い
当初10年間	42,856	3,666
1回継続後	38,900	3,322
2回継続後	38,026	3,248

継続特約を付加し、保障期間が20年、30年となる場合、継続後の共済掛金は継続時の共済掛金率で計算いたしますので、継続の時に共済掛金が増える可能性があります。
物件の種類によって、共済掛金が異なります。

建物更生共済むてきプラスには、
家財を保障の対象とするプラン「My家財プラス」もあります。

■臨時費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けたときに生じる臨時の費用に対して、火災・風水災等共済金の額の30%(または10%)をお支払いします。1回の事故につき、1建物について250万円が限度です。■地震の保障:地震等により損害割合が5%以上となる損害を受けた場合には、その損害に対して地震共済金をお支払いします(損害の額の50%が限度)。■地震保険料控除:令和5年1月末現在の法令等および国税当局への照会結果にもとづくもので、将来の取扱いを保障するものではありません。個別の取扱いについては所轄の税務署にご確認ください。■残存物とりかたづけ費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けた共済の対象の残存物のとりかたづけ費用、搬出費用をお支払いします。1回の事故につき火災・風水災等共済金の額の10%が限度です。■特別費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害割合が80%以上となる損害を受けたときに生じる特別な費用に対して、火災共済金額の10%をお支払いします。1回の事故につき、1建物について200万円が限度です。■傷害共済金:ご契約の建物に発生した火災等や自然災害によって、ご家族や居住者が200日以内に所定の治療、または手術を受けたときに火災共済金の5%をお支払いします。10日以上入院、または30日以上入院または通院して治療もしくは手術を受けた場合にお支払いします(1人につき30万円を限度とします)。■満期共済金は継続回数継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。

●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。 ■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせは

JA共済

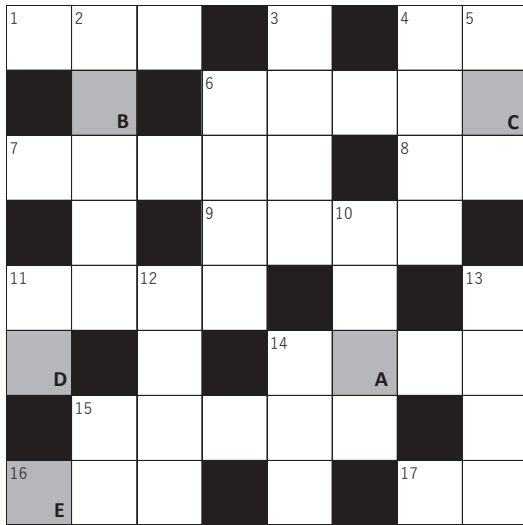
JAきたそらち

本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

[23019990070]

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E

【タテのカギ】

- 非常に短い時間。瞬く間。一瞬。
- ご飯を食べること。「○○○〇処」「お○○○○券」
- 薬用になる植物。薬用植物。
- 人や車などが通る道。
- 降り積もった雪を取り除くこと。
- その次の日。あくる日。
- 俳句や連歌において特定の季節を示す言葉のこと
- 育てて立派にすること「人材○○○○」
- 物事の規模。人物の度量。「話の○○○○が大きい」
- 日の当たらない暗い部分
- 風雨のために海が荒れること。海が荒れて魚がとれないこと

【ヨコのカギ】

- 機械。「タイム○○○」
- 旅先で泊まる場所。住むところ。
- 空の上の方。
- すべての曲。ある曲のすべて。
- 歌唱・演奏などを一人で行うこと。独唱。独奏。
- 鍵をかけること。
- 価格・量・品質などがどれも一様であること。「百円○○○○」
- いすなどの、ひじをもたせかける部分。
- 個人としての生活。
- 夜の景色。
- 太陽が沈んでから次の朝までの暗い時間

7月号の正解は

「ナツマツリ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 太田 輝己 様
雨竜町 西村 理乃 様
幌加内町 棕井 功 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切9月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和5年11月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



八月俳句

●雨電俳句会

喜雨なれば雑草にもまた喜雨となる
しがみつく大地と格闘草むしり
唇にその色残し初蓊
風死すも農夫の足は田畑へ
蓊畑我がつまづくカラス除け

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子

●「道」俳句会 北電支部

朝採りの仏花に蟻の惑うかな
腕時計外しひたすら墓洗う
廃校の校歌の山河夕焼けぬ
走り穂に遅れとるなど風の声
絶景や空逆さまに夏の湖
人災の酷暑の波に飲みこまれ
緑陰のゆるるや夫が居るようで
夕虹や登れぬ橋を浄土へと

山本 玲子
山岸 正俊
阿部 れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇 美和子
佐藤 美智子

●土筆俳句会

秋扇やはにかむときも声おさふ
消毒液隈なく撒かれ祭後
子ら寄せる太鼓の音や盆踊
父知らぬ弟の白髪赤蜻蛉
雨一陣涼を運びて粹に過ぎ
ご来光ライブで届く令和かな
動画にて暑中見舞いのご挨拶
夕立の水流れ出すマンホール
知らせ来る友逝く朝の風の色

高尾 美津子
池田 美知
山川 輝子
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
小橋 厚子

第8回理事会〈令和5年7月28日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 組合員の加入脱退について
3. 財務報告及び事業実績について
4. 固定資産の取得・修繕について
5. のり監査法人期中監査I経過概要報告について
6. 令和4年度 連合会・関係団体の概要について
7. JAきたそらち災害対策組織及び緊急時連絡先について
8. 固定資産現物確認結果について
9. 職員の人事及び業務事故について
10. LINEWORKS使用ルールの設定について
11. 令和5年度空知管内JA役員研修の開催について
12. 貸出金の貸付報告について

議案第1号 給与規程の一部改正について
 議案第2号 固定資産の取得について
 議案第3号 理事に対する貸出承認について

1. 令和5年度JA役員研修の実施について
2. 理事の順位について

13. 令和5年度 長期共済一斉推進実績について
14. 令和5年度 主要農作物の生育概況（7月15日）について
15. うるち米を巡る情勢について
16. 令和5年産 うるち米早期契約締結内容について
17. もち米を巡る情勢について
18. 米在庫状況について
19. 販売未収金について
20. 秋播き小麦「北見95号」異品種（異形）発生について
21. 畜産物の販売実績について
22. 青果・花き集荷販売実績について
23. 経済部事業実績について

議案第4号 貸出金の貸付について
 議案第5号 共同計算基本要領における重要事項の決定について



組合員の動き

(令和5年7月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	2	35	1,217
	団体	102	3	0	105
准組合員	個人	5,477	54	32	5,499
	団体	271	1	0	272
正組合員戸数		893	1	24	870

音江保育園 バケツ稲レポート



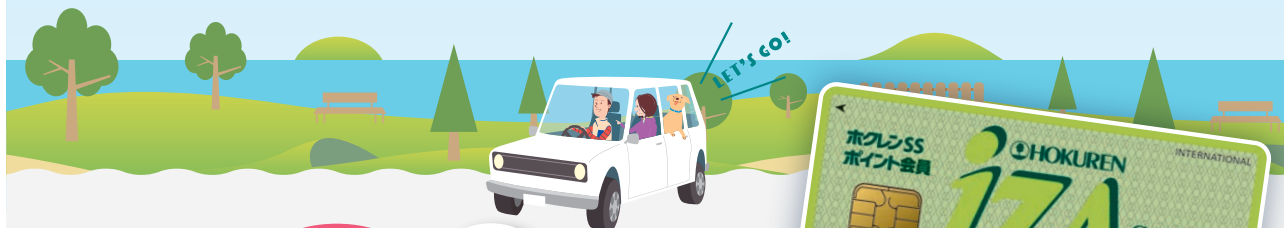
8がつ 10か 木ようび

さあ！もうすぐ収穫です！鳥よけのキラキラテープも付けました！今後は子どもたちの収穫の様子などSNSや当広報誌でもご紹介予定です。お楽しみに♪

経済部からのお知らせ

ホクレン iZAカード お得な情報のご案内

iZAカードを利用すると、
ご利用金額に応じてポイントがたまり、
翌月のガソリン代・灯油代が
おトクになります! (詳細は裏面)



おトク1

最大
灯油 9円/L 引き!

(上限300L/月)

初年度年会費無料

1年間のショッピングご利用合計金額が
12万円(税込)以上の場合は、
次年度年会費1,375円(税込)が無料!

おトク2

初年度1年間
灯油 1円/L 引き!

(上限300L/月)

おトク3

最大
**ハイオク
レギュラー 30円/L 引き!**

※軽油は最大15円/L引き!

(上限150L/月)



ご入会特典!

ホクレンSSポイント

2,000ポイントプレゼント!!

(~2023年9月30日発券分まで)

※カードの入会には所定の審査があります。 ※すでにホクレンiZAカードをお持ちの方、家族カードの追加は本キャンペーンの対象外となります。
※ポイントの付与は発券月の翌月末となります。